

福祉	「配食車贈呈事業」
地域高齢者や障がい者を対象にした配食サービス事業を展開している団体に配食車を贈呈します。	
〔助成金額〕 配食車 1台	【対象団体】 N P O 法 人 市 民 活 動 団 体
〔申込締切〕 5月14日	
〔発 信 元〕（公財）毎日新聞大阪社会事業団 〔U R L〕 https://www.mainichi.co.jp/osaka_shakaijigyo/	

福祉	第38回 老後を豊かにするボランティア活動資金助成事業
高齢者を主な対象として活動するボランティアグループおよび地域共生社会の実現につながる活動を行っている高齢者中心のボランティアグループに対し、活動において継続的に使用する用具・機器類の取得資金を助成します。	
〔助成金額〕 1グループ上限10万円	【対象団体】 市 民 活 動 団 体
〔申込締切〕 5月21日	
〔発 信 元〕（公財）みずほ教育福祉財団 〔U R L〕 http://www.mizuho-ewf.or.jp/	

文化	研究助成 「地域文化活動の継承と発展を考える」
日本の地域文化活動の継承と発展に寄与する研究の振興を目的として、地域文化活動を行っている人や地域文化活動に関心のある研究者による、地域文化活動の現場に寄り添った、具体的で実践的な研究を助成します。	
〔助成金額〕 50～300万円	【対象団体】 市 民 活 動 団 体
〔申込締切〕 4月8日	
〔発 信 元〕（公財）サントリー文化財団 〔U R L〕 https://www.suntory.co.jp/sfnd/research/	

文化	ポーラ伝統文化振興財団 助成事業
日本の無形の伝統文化の保存・振興をはかるため、伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能・行事の各分野で保存・伝承・振興活動および調査・研究活動において、有効な成果が期待できる事業に対し助成します。	
〔助成金額〕 30～200万円程度	【対象団体】 N P O 法 人 市 民 活 動 団 体
〔申込締切〕 3月31日	
〔発 信 元〕（公財）ポーラ伝統文化振興財団 〔U R L〕 http://www.polaculture.or.jp/promotion/jyoseiapply.html	

福祉	2021年度 地域福祉チャレンジ活動助成
地域包括ケアシステムの展開、そして深化につながる5つのテーマのいずれかに該当する活動について助成します。	
①福祉施設や福祉・介護・保健・リハビリステーション専門職と地域住民の協働によるインフォーマルなサービスづくりへ向けてのチャレンジ活動	
②認知症の人、家族と地域住民がともに安心、安全に暮らせる地域づくりへ向けてのチャレンジ活動	
③人生の看取りまで含み生活支援につながる実践へ向けてのチャレンジ活動日常生活支援、身元保証、死後対応等	
④高齢者単身者、家族介護者を含めた複合的な生活課題に対する支援につながる実践へ向けてのチャレンジ活動	
⑤高齢者、障がい者、子ども等全世代交流型の活動・就労の機会提供、社会参加づくりへ向けてのチャレンジ活動	
〔助成金額〕 最大400万円（1年最大200万円）	【対象団体】 N P O 法 人 市 民 活 動 団 体
〔申込締切〕 5月31日	
〔発 信 元〕 日本生命財団 高齢社会助成事務局 〔U R L〕 http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/02.html	

スポーツ	2021年度 助成金
青少年スポーツの振興に関する事業を積極的に行い、奨励し、または自ら行い、かつ3年以上継続して活動している団体を助成します。	
〔助成金額〕 上限100万円	【対象団体】 N P O 法 人
〔申込締切〕 6月21日	
〔発 信 元〕（公財）ヨネックススポーツ振興財団 〔U R L〕 http://www.yonexsports-f.or.jp/joseikin.html	

※各種助成金の詳細については、
発信元のホームページをご覧ください。

発行元：益田市市民活動支援センター

益田市常盤町1番1号 益田市役所人口拡大課内

TEL:0856-31-0600 FAX:0856-23-7708

Eメール: npo@city.masuda.lg.jp



ますだすまいる 通信

市民活動支援センターを活用しよう！

益田市内には地域の課題解決・活性化・つながりづくりなどそれぞれの特性を活かしながら様々な活動をしているボランティア団体があります。益田市市民活動支援センターでは、団体の活動支援や団体同士のつながりづくりをお手伝いしています。

①相談

皆さんの「わからない」や「困った」という声をお聞かせください。市民活動支援センターでは、皆さんに寄り添い問題解決のお手伝いをしています。
まずは、お気軽にご相談ください！

③学ぶ

市民活動団体のスキルアップ研修など、皆さんのニーズに合わせた研修会や講座を開催！
皆さんの声を参考に、学びの場づくりを行います。

⑤つかう

市民活動支援センターに登録すると、設置機器であるコピー機と印刷機が安価でご利用いただけます。
利用料は下記のとおりです。

設置機器	利用料
印刷機	【製版代】 製版 1枚 50円 【インク代】 印刷 200枚まで無料 201枚から 200枚毎に 50円加算 *印刷機の用紙は利用者様の持ち込みになります。
	【コピーおよびプリント代】 1枚 カラー 全サイズ 30円 モノクロ 全サイズ 5円
複合機	【ファックス代】 1枚 全サイズ 30円

②伝える

毎月発行する情報誌「ますだすまいる通信」やfacebookなどで、皆さんのイベントや活動を市民の皆さんに知ってもらえるよう、情報発信のお手伝いをしています！
様々なイベントへ積極的に参加し、伝える場づくりも行っています。



④つながる

市民活動支援センターでは、行政、市民活動団体、NPO法人、地域自治組織などの多様な主体をつなげる架け橋となり、活動の輪を広げるお手伝いをします！



令和2年度には、行政と市民活動団体を対象とした交流会を実施しました。

イベントや活動に積極的に参加し、皆さんの活動の様子や想いを広く伝えていければと思います。
申込用紙については、市HPをご覧ください。
<https://www.city.masuda.lg.jp/so-shiki/21//313.html>



石見神楽の魅力を伝える高津神楽社中

島根県西部の伝統芸能である「石見神楽」の良さを多くの方に伝えたいと、明治25年10月隅村青年有志神楽連発足。大正14年10月に名称を丸山座に変更し活動。

その後、後継者不足による出演一時停止など、メンバー減少により様々な困難があった中で、藤原澄男氏の自分で旗揚げをしたいという強い思いから、昭和48年4月に高津神楽社中を創設されました。

現在は、2代目である藤原博美氏が主となって団員28名で活動しており、様々な形で「石見神楽」の素晴らしさを発信し続けています。

人々を魅了する石見神楽

石見神楽は、島根県西部の石見地方に古くから伝わる伝統芸能です。大太鼓、小太鼓、手拍子、笛を用いた活気ある囃子に合わせて舞い、昔から春・秋の神社での奉納や祭などのイベントで演じられてきました。

石見神楽は、日本国内だけでなく海外でも公演しており、子どもから大人まで幅広い世代に人気があります。高津神楽社中は、石見神楽を初めて海外で公演するなど、益田市外での公演も積極的に行っています。

〈一部抜粋〉

- ・アメリカ公演～アンカレッジ・サンフランシスコ～
- ・台湾公演～台北市アジア伝統芸能祭～
- ・和歌山県印南町～令和を祝う「石見神楽」共演会
- ・岡山県倉敷市芸術文化ホール など



表情豊かなお面

お面は、石州和紙を貼り重ねて作られています。舞用は飾り用よりも何十枚も和紙を貼り重ねることによって、軽くて丈夫なお面となり、激しい舞を可能にしています。社中によってお面に違いがあり、表情豊かなお面はそれぞれの社中の「顔」となっています。



昔は、石州和紙ではなく木を彫ってつくられていました。右の写真は高津神楽社中が保有する木製のお面です。

豪華絢爛な衣裳

石見神楽の衣装は、金糸・銀糸で昇り竜や唐獅子、鶴などの刺繍が施されており、神と悪でモチーフに違いがあります。また、舞台上でライトが当たる時に映えるよう、メッキされた銅板やガラス玉等を生地に一針ずつ縫い込んでいくなどの工夫がされています。



石見神楽の衣裳はとても重い！数十キロ近く重さがあり、肩にずっしりと食い込むほどです。

子ども一人分程の重さを着こんであの激しい舞を舞っています。



高津神楽社中のイチオシ！

～柿本人麿を題材とした演目「石見野」～

これまで様々な場所で石見神楽を公演してきた中で、「益田市ってどこ？」という声を多く聞いてきました。はじめた当初は、石見神楽の演目はそのほとんどが九州を題材としたものでした。ご当地の演目をつくれば、石見神楽をとおして益田を宣伝できるのではという思いからできたのが柿本人麿を題材とした演目「石見野」です。

演目をとおして、益田の歴史や資源・良さを県内外に伝えていきます。



～子ども神楽！～

メンバー減少による様々な困難を経験してきた高津神楽社中。その経験から、後継者を育てるには子どもの頃から石見神楽に触れる機会や体験が大切だと気づき、いち早く子ども神楽を開始しました。

高津神楽社中が神楽を行う中で一番大事にしているのは、舞台上に上がること。何十回練習したとしても、舞台上で舞うのとは全然違います。舞うチャンスがあればあるほど、舞台上に上がって人前で舞えば舞うほど、達成感や感動を実感できます。



次世代を担う子ども達と一緒に盛り上げていきます！

高津神楽社中の今後の目標！

市内の子ども達に石見神楽の魅力を伝える！

市内の小学校を中心に、石見神楽とは何なのか子ども達に知ってもらえるような取り組みがしたいと考えており、次世代を担う子ども達に石見神楽に関心をもってもらうことで、地域への愛着を持ってもらいたい、神楽を舞う喜びを知ってもらいたいと思っています。

【問合せ先】

高津神楽社中

練習日：毎週火曜日・金曜日の夜7時半

主に金曜日は子ども神楽の指導

場 所：益田市高津8丁目1-24

練習は岩見建設2階で行っています。

Tel/Fax：0856-22-1271

facebook：https://m.facebook/takatukagura/

【記事を見てくれた方へ一言】

高津神楽社中は、昭和48年に創設してから長年、石見神楽の発展に貢献してきました。益田市民が誇りに思えるものを今後も演じていきます。石見神楽に興味のある方、一緒に盛り上げていきませんか。